

2022 年第 2 回 東京支部理事会開催

6 月 29 日(水) 15:00 より、Web 会議と集合会議（住友電工（赤坂見附））の併設会議にて、2022 年第 2 回東京支部理事会が開催され、オブザーバー 3 名を含む 21 名が出席しました。



[理事会議事録](#)

■ 2022 年東京支部理事会の予定

- ・第 3 回 9 月 6 日（火） 住友電工 東京本社（赤坂見附）
- ・第 4 回 12 月 1 日（木） 機械振興会館

第 5 回 LMAG-Tokyo イブニングサロン開催

第 5 回イブニングサロンは 2022 年 6 月 14 日(火) 15:00-17:00 に機会振興会館会議室で参加者 98 名（会場参加 15 名、オンライン 83 名）を得て開催されました。

今回のイブニングサロンは JAXA 宇宙科学研究所名誉教授の高野忠氏（LMAG-Tokyo Past Chair）による話題提供で、“宇宙旅行は今にも始まる：日本はどうする？”というテーマでした。

その概要は、「宇宙旅行をヴァージンギャラクティック社が年内に始めようとしている。ブルーオリジン社も続いている。100 km 程度まで到達し戻ってくる形態なので、軌道を回るよりはるかに安全である。上昇時は急加速を、頂点近くでは無重力を、そして窓から真空中の宇宙や地球の眺めを、それぞれ楽しめる。人が乗る宇宙船は再使用され、宇宙旅行服は特別なものとなる。もちろん高い安全性が要求され、旅行者用の通信システムも必要になるだろう。日本はそれらの技術面で、得意分野から寄与することができる。」という夢のある話でした。

高野氏の話提供の後、懇談の時間になり、「宇宙旅行はいつか誰でも行けるものになる」ということを広く理解してもらうのがカギになる、のでは「宇宙旅行が大衆化するには沢山の人が乗れるロケットが必要ではないか」「宇宙旅行に行くには打ち上げ時にかなりの G がかかるが、これは何とかならないか」などの多くのコメント・質問が会場とネットを通じてあり、大いに盛り上がりました。



講演される高野忠氏



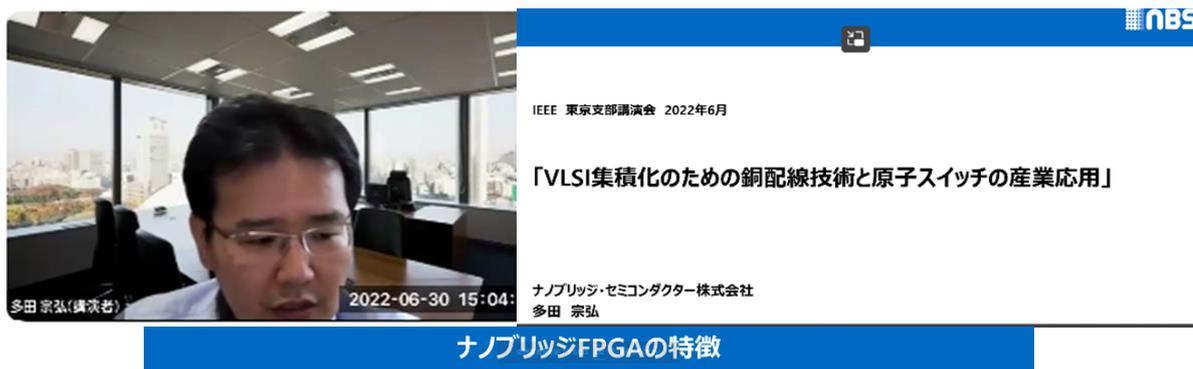
懇談の風景

（報告：Life Members Affinity Group (LMAG-Tokyo) Secretary 林 秀樹）

2022 年第 4 回東京支部講演会開催

東京支部 TPC (Technical Program Committee) 主催で、6 月 30 日 (木) 15:00～16:30 において、バーチャル会議システム Zoom Webinar により、参加者約 54 名を集めて、2022 年第 4 回東京支部講演会を開催いたしました (共催: IEEE 東京支部 LMAG (Life Members Affinity Group)、協賛: 電子情報通信学会)。本講演会ではナノブリッジ・セミコンダクター株式会社・取締役 多田 宗弘様をお招きし、「VLSI 集積化のための銅配線技術と原子スイッチの産業応用」と題して、VLSI の高集積化における配線技術に関する内容から、さらなる高集積化と高機能化に向けて研究した技術である原子スイッチ (ナノブリッジ) の実用化、三次元 FPGA などへの製品展開など、これまで世界に先駆けて研究した内容を中心に非常に興味深いご講演をいただきました。

第 1 回の講演会とは形式を変更し、今回は Zoom Webinar によるバーチャルオンライン会議として開催しました。第 4 回講演会開催日の頃は比較的コロナの状況が落ち着いていたものの、その後国内のコロナ感染状況が急速に悪化するとうように、状況の見通しは非常に複雑なため、今後も状況に応じた形式の開催を引き続き実施して参りたいと思います。



IEEE 東京支部講演会 2022年6月

「VLSI集積化のための銅配線技術と原子スイッチの産業応用」

多田 宗弘 (講演者) 2022-06-30 15:04 ナノブリッジ・セミコンダクター株式会社 多田 宗弘

NBS

ナノブリッジFPGAの特徴



NB特徴	NB inside	機器での効果
小型	低電力	筐体小型化・排熱不要
不揮発性	待機電力不要	電池長寿命・交換不要
ロバスト	耐放射線	宇宙環境使用・冗長化不要

耐ノイズ・耐熱
耐タンパ・耐放射線

(報告: Technical Program Committee Secretary 松本 敦)

自動更新のご案内

皆様、2022 年の IEEE 会員資格更新はお済みでしょうか。

今般の新型コロナウイルス感染の世界的拡大を契機として、社会構造の変化が加速すると言われています。感染症や気候変動などのグローバルな脅威を克服し、真に安全・安心・快適な社会を実現していくために技術はどつあるべきか、多くの人が考え、行動を始めています。IEEE に長年蓄積され更新され続ける情報とデータ、そして知識と智慧を持つ人的ネットワークにオンラインでアクセスできることは、人々の物理接触が制限された状況でこそ、高い価値を持つはずで。どうぞ IEEE 会員資格の更新をお忘れなく、世界の技術発展に参加していきましょう。

※会員資格更新の方法

IEEE 本部 ウェブサイトのアカウントをご登録の上、会員資格更新のページ (https://www.ieee.org/membership_services/membership/renew/index.html) で更新手続きを行ってください。また、毎年の更新手続きを省略する自動更新 (automatic renewal) を設定することもできますので、併せてご利用ください。

(報告 : Membership Development Committee Chair 横田 知之)

IEEE東京支部事務局からのお知らせ

Tokyo Bulletin はメールにて発行させて頂いております。

2022 年のメンバーシップ更新はお済みでしょうか？本部ホームページからオンラインで [更新手続き](#) ができます。

東京支部では会員の皆様のシニアメンバーへのアップグレードを推奨しております。本部ホームページ上で [Online 申請](#) ができます。詳細については [Senior Member 申請方法](#) をご参照ください。

住所等のご変更は、必ず IEEE 本部に届け出てください。 [Web Account](#) にサインインし、Profile メニューからのご変更が可能です。

会員の皆様からのご意見、ご要望などのお問い合わせは tokyosec@ieee-jp.org までお願いいたします。